

平成 29 年度 技術研修見学会

日時：平成 29 年 10 月 19 日（木）～20 日（金）

日付	時刻	日程	ご案内
10 月 19 日 (木)	8:10	札幌駅北口出発 (集合 8:00)	登別東 IC～カルルス經由 車中概要説明 道総研地 質研究所遠藤所長 堆積場 30 分・施設 60 分
	10:30	幌別硫黄鉱山坑廃水処理施設到着 坑廃水処理施事業の概要説明および 見学(90 分)	
	12:00	廃水処理施設出発	
	12:30	洞爺湖畔にて昼食 (50 分)	わかさいも本舗洞爺湖本 店レストラン仙堂庵
	13:20	レストラン出発	
	13:50	洞爺湖温泉地熱発電施設到着 (バス移動 10 分、徒歩 20 分) バイナリー方式発電施設見学 (60 分)	洞爺湖温泉利用協同組合
	14:50	発電施設出発	
	15:50	東湖畔トンネル工事現場到着 工事現場見学 (60 分)	伊藤組土建 J V
	16:50	工事現場出発	
	17:00	洞爺サンパレス到着チェックイン	洞爺サンパレス 1 泊
	18:30	懇親会 (120 分)	
10 月 20 日 (金)	8:50	洞爺サンパレス出発 (集合 8:40)	三松正夫記念館三松館長
	9:00	道の駅そうべつ情報館 i 到着 特別講演「有珠山噴火の歴史と防 災」 (90 分)	
	10:30	道の駅そうべつ情報館 i 出発	
	10:40	有珠山ロープウェイ到着 有珠山見学 (90 分)	火山マイスター同行 (雨天時サミット記念館 に変更)
	12:10	有珠山ロープウェイ出発	
	12:20	洞爺湖畔にて昼食 (50 分)	民芸茶屋レストランお でら
	13:10	レストラン出発	
	13:20	現地見学場所到着 金毘羅火口遺構・洞爺湖ビジターセ ンター見学 (90 分)	火山マイスター同行
	14:50	札幌に向けて出発	
	17:20	J R 札幌駅北口到着・解散	



見学地の概要

① 幌別硫黄鉱山坑廃水処理施設

有珠郡壮瞥町字黄溪にある旧幌別硫黄鉱山は、かつて硫黄の採掘が行われていた。明治 35 年に硫黄の露頭が発見されて以来、硫黄と硫化鉄鉱の採掘によって大きく発展してきたが、昭和 40 年以降の市況の悪化に伴い、昭和 48 年 6 月に閉山した。

閉山後、行われている幌別硫黄鉱山坑廃水処理事業は、流出する強酸性水 (PH1.9) を化学的に中和し、水質を改善して鉱害を防止する事業として、昭和 48 年度から国及び北海道の補助により、壮瞥町が事業主体となって開始したもので、昭和 50 年以降は北海道が国の補助を受けて事業主体となり、壮瞥町が業務委託を受けて実施している。

今回は、その水処理施設と脱水ケーキの堆積場を見学する。

② 洞爺湖温泉地熱発電施設

北海道洞爺湖町洞爺湖温泉では、平成 25 年度に湧出温度 135℃の高温地熱水の開発に成功した。平成 29 年 3 月より稼働している地熱発電施設 (バイナリー方式発電施設) を見学する。

③ 東湖畔トンネル工事現場

道道 132 号洞爺公園洞爺線と国道 453 号を結ぶ東湖畔トンネルの工事現場を見学する。既にトンネルは貫通され、現在、覆工工事が行われている。

④ 特別講演「有珠山噴火の歴史と防災」

三松正夫記念館の三松三朗館長に「有珠山噴火の歴史と防災」と題してご講演をお願いします。

有珠山の近年の噴火 (明治以降) としては、1910 (明治 43) 年、1943 (昭和 18) 年～1945 (昭和 20) 年、1977 (昭和 52) 年、2000 年 (平成 12) 年がある。記憶に新しい 2000 年の噴火では、有珠山非常災害現地対策本部が設置され、3 市町で約 1 万 6000 人が避難し、死傷者を出さず終息を迎えることができた。

今回は有珠山の噴火の歴史、その中で 1910 (明治 43) 年噴火時の東京帝国大学の大森房吉教授と飯田誠一室蘭警察署長、1943 (昭和 18) 年～1945 (昭和 20) 年噴火時の三松正夫壮瞥郵便局長、2000 年 (平成 12) 年噴火時の北海道大学岡田弘教授の観測に基づいた学官の防災の取り組みについてご講演をお願いします。

⑤ 有珠山・昭和新山・洞爺湖見学

有珠山ロープウェイに乗車して有珠山に登り、火口原展望台を往復する。

見学には火山マイスターが同行し、火山防災の見地から有珠山の特徴や防災体制、歴史などについてご案内をお願いします。

⑥ 現地見学

今回は金毘羅火口遺構を巡り、災害遺構保存や 2000 年噴火災害、防災設備等の見地から防災体制、現在の避難体制や課題などについて火山マイスターにご案内をお願いします。その後、洞爺湖ビジターセンターを見学する。